



# 進路通信 さくら



2021年  
11月15日発行

11月も3週目が始まりました。11月4、5日には、修学旅行がありました。最高学年として、素晴らしい集団行動や個人行動が見られました。2年間積み上げてきた“人間力”“集団力”が大いに発揮された修学旅行でした。お疲れさまでした。

さて、修学旅行も終わり、いよいよ進路に向けて本腰を入れていく時期になりました。誰の進む道でもない、自分が歩いていく道を、後悔なく、胸を張って、決めてほしいと思います。

## ◆「いよいよ受験（検）校を決めていく時期」

11月に入り、先生のところにもたくさんの生徒が進路について相談に来てくれるようになりました。すごく嬉しいです。相談に来てくれた生徒と話している中で、先生が感じたことを紹介します。

- ① 学力的に、高校に受かるのかどうかを心配しすぎている
- ② 今の自分の実力を見て、受験（検）校を考えている

話をしている生徒から、この2つのことをよく感じます。しっかりと進路に向き合ってくれているからこそ、不安という壁にぶち当たってしまうのでしょうか。人生を豊かにしていくということにおいて、“不安”はとても必要なことです。ここで、1つアドバイス!!

**受かるのかどうかという不安ではなく、行きたいという希望を胸に!!**

人間は不安を感じやすい生き物です。例えば、部活のことであったり、人間関係のことであったり、進路のことであったり、どんなことであったり、「常に前向き」とはなかなかいえないものです。不安を感じるのとはごく当然です。そんな気持ちを抱きながらも、「それを倒すための努力ができるのか」、「挑戦せずあきらめて逃げるのか」、どちらを選択するのが重要です。どちらの選択が正しいのかは、人によって異なるでしょう。自分で選択をし、後悔のない進路選択をしてほしいと思っています。

ここで、肩の力を抜いて、進路と向き合える考え方を伝授しておきます。

- 1、自分の気持ちは変わるもの。一度決めたことでも、変えてもいい。  
それが、もし出願の直前だったとしても、自分の気持ちが変わったのなら、自分の気持ちに従った方がいい。
- 1、最悪、あきらめてもいい。(挑戦し続けた結果、自分が納得ならば。)
- 1、どんな道であっても、必死に考え、自分で決めた道が、最良の道である。

**未来のことを考えるときは、ワクワク、前向きに明るくいきましょう!!**

## ◆「併願校の決め方について」

高校入試というものは、1つの高校のみに挑戦をする、デンジャラスなものではありません。みなさんが高校で学べる環境を確保するために、国や県が作っている公立校以外に、個人で作られている高校（私立）があります。また、公立高校でも、特色選抜や一般選抜があります。入試日程が異なるため、複数受験（検）が可能で、いろんな高校に挑戦をし、1つの高校がダメであっても、違う高校に入学することができるようになってきました。そこで、「滑り止め」という言葉について、話をしておきます。受験期になると、よくこの言葉を聞きます。一般的な「滑り止め」という考え方は、第1志望がダメだった場合でも、高校へ進学ができるように、合格することを第1に考えて受験校をえらび、受験するというものです。だからこそ、「滑り止め」という表現になっているのでしょう。

そこで1つ質問です。

**「第1志望がダメだった場合、合格することを第1に考えて選んだ高校へ進学することになりますが、本当にその高校でよいのでしょうか。」**

考えてみてください。非常に大事なことです。

みなさんは、行きたい高校へ進学するべきです。第1志望だけ行きたい気持ちがあっても、それ以外は行きたくないという考え方では、もし第1志望がダメだった場合、新たな高校生活を前向きにスタートできるでしょうか。あまり考えずに受験（検）をしてしまうと、行きたくない高校へ進学しなければならぬ事態に陥ります。それは避けなければなりません。つまり、第1志望以外の高校にも進学する可能性があるということを十分に考えた上で、高校選びをしなければならないということです。よくある決め方として「公立高校が〇〇高校だから、学力的に考えて、私立は〇〇高校くらい」と、実際進学することを考えずに選んでしまうことは避けてください。(中学生の当時の安田は、そのように私立高校を決めて受験しました。今思うと情けない決め方だったと反省しています)過去の生徒でも、実際直接確認すると、「別に行く気はない」や「塾で勧められたから」など、自分の思いがなく、高校の情報などを全く知らずに受験している人がいました。これでは、進路を自分で決めていることにはなりません。そもそも、行く気がない高校に出願すること自体がおかしな話です。力試しや受験の経験をするためなどの明確な目的があれば話は変わってきますが(検査を受けるだけでもお金がかかることなのでおすすめはしません)。基本的には、行きたいかどうかで受験(検)校は決めていきます。第1志望以外の高校でも、自分で調べ、実際に進学することをしっかりとイメージした上で、出願してほしいと思います。

多く受験すればいいという訳ではありません。多く合格通知をもらえればいいという訳ではありません。受験日程も過密です。受験校が増えれば増えるほど、出願準備や受験対策の勉強も増えます(特に私立は独自問題なので、出題傾向が異なります)。行きたいところを明確にして、行きたいところのみ受験することも大事になってくるのではないかと思います。

「滑り止め」という表現や考え方ではなく、第2志望校、第3志望校というように、「自分の中に行きたいという気持ちがあるのかどうか」という視点で、高校選びをしてください。

実際に進学するのはたった1校です。その1校が、みなさんが行きたい場所・学びたい場所であることを願っています。